

高砂市男女共同参画センター NEWS

令和3年度 7月号

6月23日から29日は 「男女共同参画週間」です



令和3年度男女共同参画週間キャッチフレーズが決定しました！
「女だから、男だから、ではなく、私だから、の時代へ」

男女共同参画センターでは、6月8日（火）～ 6月29日（火）の
期間中、高砂市立図書館にて

「男女共同参画週間特設コーナー」

を設置して市民の方に、「固定概念」にとらわれず、「多様性」を
認めあうための参考になる図書を紹介しました。

自分を好きになって、自分を信じ創り上げた自由な発想が受け入れ
られる社会。

すべての方が、職場で、学校で、地域で、家庭で、それぞれの個性
と能力を発揮できる男女共同参画社会を実現するために、一緒に考
えてみませんか？

「性の多様性について」

市内の幼稚園、保育園、小学校、中学校
の先生方をお招きし

教職員研修を開催しました！

開催場所：高砂市文化保健センター
実施日時：令和3年5月14日（金）
15時00分～16時40分
講師：田中 一步 氏
近藤 孝子 氏
（にじいろi-Ru（アイル））

「性の多様性から『じぶん』について考える」

～誰も排除されない社会を目指して
子どもたちとの出会いから見えてきたこと～



一步さんは生物学的性は「女性」ですが、性自認は「男性」。幼い頃から体と心の性が違うことに悩んでいました。性の悩みを人には言えず、自分の部屋では男として、その他の場所では女として生活してきました。好きになるのは女の子。自分のような人間は世界で一人だけで、本当の自分を知られると皆に笑われ疎外されると思い、本当の自分を出せないまま暮らしてきました。

20歳の時、豊中市で保育士になった一步さんは良い職場、良い人間関係に恵まれましたが、自身のセクシュアリティについては言えませんでした。

24歳の時、こんちゃん（近藤さん）が転勤してきました。子どもでもおとなでもその人を尊重し、その人がやりたいと思うことを一緒にやろうとするこんちゃんに感動し、自分の話を聞いてほしいと思い、初めてカミングアウトします。自分のことを否定されない・排除されないと思える人には自然に話したいと思えました。

こんちゃんに「今まで独りぼっちでしんどかったな」「何か手伝えることはある？」「今、一番したいことは？」と聞かれ「男性もののパンツがはきたい」と一步さんは答えます。翌日こんちゃんと一緒に買いものに行ってくれました。



「自分の当たり前は他人の当たり前じゃない」



その後、性の多様性について二人で勉強し始め、「多様が自然」という思いがたつよくなっています。

自分の好きも友だちの好きも大事に出来る子どもを増やすためのワークショップを通じて、ネットやテレビ、家庭、学校等からの情報で、子どもたちは多様性を認めなくなっていることに気づきました。多様性について正しい知識をおとなたちが伝えていくことが重要です。家庭や学校の役割はとて大きく、誰もが安心して本当の自分が出せる社会が望まれます。



セクシャリティ（性のあり方）の4つの要素

- ①生物学的性：Sex（セックス）
性染色体、外性器・内性器の状態、ホルモンなどの要素によって決められる性
- ②性自認：Gender Identity（ジェンダーアイデンティティ）
自分自身の性をどうとらえているかということ。
- ③性表現：Gender Expression（ジェンダーエクスプレッション）
 - ・性別役割（期待される役割「男らしさ」「女らしさ」）
 - ・性別表現（服装・仕草・言葉遣い）
- ④性的指向：Sexual Orientation（セクシャルオリエンテーション）
恋愛や性愛の対象となる性別のこと。

*SOGIESC（ソジエスク）

sexual orientation and gender-identity and expression and sex characteristics
（性的指向、性自認、性表現、性的特徴の頭文字）

どんな性を好きになるか、どのような性を自認するか、どのような性表現をしているか、またどういった性的特徴を持っているかを表した言葉です。
わたしたち一人ひとりそれぞれにSOGIESCを表しながら生きています。

性のありようは多様

- * 性自認・性的指向は、教育やしつけで変わらない
- * 性別の認識がない人もいる
- * 違いを否定しないこと・どんな性もOK！
- * 見た目では勝手に決めない（見た目ではわからない）



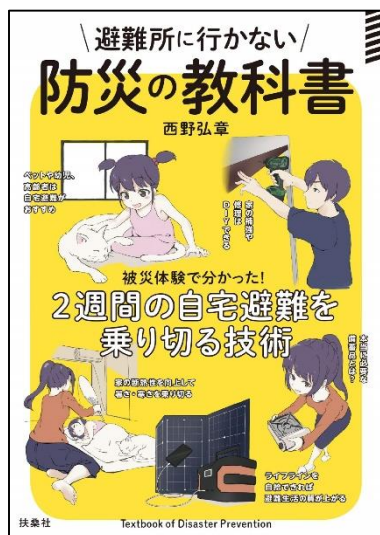
図書案内

避難所に行かない防災の教科書

著者：西野 弘章

地震が各地で頻発、台風、暴風雨などの甚大な被害、世界情勢不安・・・突然何が起きても不思議ではない時代です。新型コロナウイルスの流行や家族に乳幼児や妊婦、高齢者や介護者、持病のある方、またはペットなど災害弱者となりやすい方がいる場合、従来のように「避難所に避難する」ことだけが正しい選択肢ではなくなってきています。避難所の環境はお世辞にもよいものではなく、酷暑と極寒、床は堅くトイレは不衛生で数も少ない。プライベートを確保するのが難しく着替えや洗濯の場所にも困るという状況です。ストレスフルな環境で災害関連死を防ぐために「どうすれば避難所に行かずにすむか？」を考えてみませんか？著者は2019年の千葉の超大型台風を乗り切りました。自宅の安全度を高めて自宅に避難するという新しい避難の形を提案している本です。

* 男女共同参画センターでは本の貸し出しを行っています。
お1人様2週間2冊まで。ご利用お待ちしています。



令和3年度の男女共同参画センター

行事の一部をご紹介します

(※新型コロナウイルスの影響で延期または中止の場合があります。)

お父さん応援講座

「親子で作る廃品の楽器」

とき：8月22日(日) 13:00~14:30

場所：中央公民館

講師：マエストロ足立氏

対象：小学校までの子どもと保護者

定員：25組

参加費：無料

申込、問い合わせは
中央公民館へ

申込、問い合わせは
10/1までに高砂市
男女共同参画センター
へ

男性の料理教室

「魚のさばき方講座」

とき：10月17日(日)

10:00~13:00

場所：中央公民館

講師：浜のかあちゃん

対象：男性(小学生以上の子供同伴可)

定員：16名

参加費：無料

持ち物：エプロン、三角巾、筆記用具、
マスク、飲み物、保存容器

旬の魚を
使ったメニュー

エッセイ講座

とき：9月3日(金) 13:30~15:30

場所：高砂市立図書館

講師：大西玄一郎氏

対象：市内在住・在勤

定員：20名

参加費：無料

申込、問い合わせは
8/27までに高砂市
男女共同参画センターへ

女性のための相談室

女性問題カウンセラーが、女性が抱えるさまざまな問題について無料で相談に応じます。秘密は厳守します。

(心理カウンセリング等ではありません)

電話相談・面接相談(予約制)

月~金 9:30~17:00 (12:00~13:00を除く)

※ 祝日、年末年始を除く

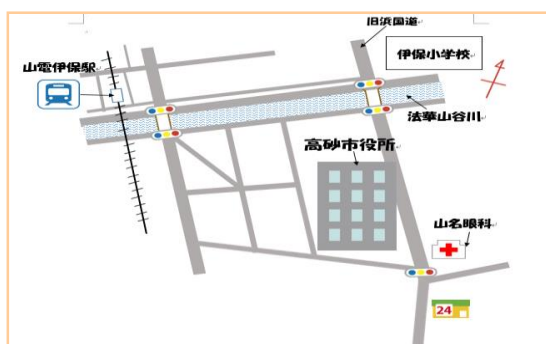
女性のための法律相談

月に一度、女性の弁護士が女性が抱えるさまざまな問題について、法的手続き等の相談を無料で行います。相談内容をまとめるために、事前に女性問題カウンセラーによる相談をお受け下さい。(予約要・お一人30分)

毎月第4月曜日

13:00~16:00

※第4月曜が休日の場合は第4水曜日



高砂市男女共同参画センター

高砂市荒井町千鳥1丁目1番1号

高砂市役所西庁舎4F

電話 (079) 443-9133

FAX (079) 442-2229

E-mail cocot@city.takasago.lg.jp

(令和3年7月発行)